

2024 年度 第 11 回理事会(拡大運営委員会)議事録

開催日時:令和 7 年 3 月 25 日(火)15:30~17:00

開催場所:静岡商工会議所 401 会議室

出席理事:久保田光二／議長、鈴木 裕、宇賀田栄次、漆畑晃司、小林裕敏、
村松克己、米良直樹、山本隆秀

＜オンライン出席＞齊藤弘幸、兼城 毅、瀬戸伸亮

出席部会長:花澤真平／人財育成研修部会、渡辺 篤／人財開拓推進部会、
山口俊一／ビジネスマッチング部会

出席監事:飯尾聡文

委任状出席:日詰一幸、稲葉豊穂、松澤正典

オブザーバー:静岡市産業政策課／奥村未来主事、中村真那主事、糠谷充孝主事
人財育成研修部会／高橋義輝副部会長
株式会社SBS情報システム／原田雅樹執行役員(花澤氏の後任)

事務局:事務局長・桜井俊秀、松本彰祥

欠 席:監事・上田和博、相談役・鈴木佐太郎

以上、会議出席者総数:25 名(出席理事 14 名／委任状出席理事 3 名を含む)

※理事会開会前に、静岡市役所の令和 7 年度人事異動により奥村主事及び中村主事が異動となるため、糠谷主事が次年度以降の理事会にオブザーバー出席する旨の報告が奥村主事よりあった。

1. 開 会

(1) 冒頭、久保田理事長が議長に就任し、開会のあいさつの後に議事に入った。

(2) 議事録署名人の指名:議長が村松理事及び宇賀田理事を指名し、両理事より了承を得た。

＜特記事項＞

・開会あいさつの中で、久保田理事長より『技術革新の展開が速い情報産業界にあって、個々の企業では対応に限界もあると思われる。そのような時にこそ協会内における更なる情報共有に努め、協会としての対応が必要と考える』旨の発言があった。

2. 議 事

(1) 報告事項

① 事務局報告

1) 第2回ふじのくに i-Construction 推進支援協議会 Zoon 出席 3/10(月)

- 2) 漆畑運営委員長と次年度の運営委員会と事務局の連携について打ち合せ 3/14(金)
- 3) 協会HPへの「令和 6 年度 国内視察報告書」アップ 3/17(月)
- 4) 村松会計担当理事と令和 6 年度決算書(案)の確認 3/17(月)
- 5) 静岡県職業能力開発課訪問 3/18(火)

＜特記事項＞

- 1) 第2回ふじのくに i-Construction 推進支援協議会 Zoon 出席
・桜井事務局長より、当該協議会の概要として「建設土木業界への ICT 導入促進を目的に活動している」旨の報告があった。

～静岡県ホームページより抜粋～

官民共同の「ふじのくに i-Construction 推進支援協議会」では、ICT の活用や建設イノベーションについて、現場の声を抽出し、課題への対応策を検討するとともに、取組を推進するための活動を行っている。

＜担当部署＞県交通基盤部政策管理局建設政策課

・なお、久保田理事長より『SIIAが協議会に参加した経緯は？』との質問があり、桜井事務局長より『前任事務局からの引継ぎにより参加しているため、当協会の協議会参加の経緯は定かではないが、全国各地で発生している土砂災害への迅速な対応を図るためにも、情報産業業界として側面的に協力していくためにも協議会への協会参加は必要と考えている』と回答。

- 2) 次年度における運営委員会と事務局の連携について
・漆畑運営委員長より、事務局が 2 名体制となったことで、次年度からは運営委員会と事務局との連携をさらに強化していきたい旨を説明。
・さらに、次年度から理事会が四半期開催となり理事会回数が減るが、運営委員会は従来通り毎月開催していくので、理事と運営委員のコミュニケーションを図るためにも「月 1 回の運営委員会への理事長又は副理事長の参加(Web 参加を含む)」に係る依頼があった。
・上記について久保田理事長より『運営委員会には理事長が参加し、理事長が欠席の場合は副理事長に参加してもらう』旨の発言があった。
- 3) 協会HPへの「令和 6 年度 国内視察報告書」アップについて
・桜井事務局長より、報告書のHP閲覧には期限がない旨の補足説明を行った。

- 4) 村松会計担当理事と令和 6 年度決算書(案)の確認について
- ・村松担当理事より、3 月 17 日の事務局との打合せは決算書作成前の事前確認である旨の説明があり、桜井事務局長より、『静岡市への令和 6 年度補助金申請に際し、4 月第 1 週には決算報告書等を提出予定である』旨を説明した。
- 5) 静岡県職業能力開発課訪問について
- ・桜井事務局長より、令和 6 年度の静岡県優秀技能者被表彰者 21 名のうち情報部門は 3 名が受賞したが、当協会からの推薦者は審査基準が整っていなかったため候補者を挙げなかった旨の補足説明を行った。
 - ・久保田理事長より、情報部門受賞者 3 名のうち 1 名(静岡県東部 IT 推進協議会が推薦した中村俊也氏)の選定理由に係る質問があり、齊藤理事より『中村氏は静岡市在住で、AI コンサルタントとして幅広く活動していることから推薦した』旨の説明があり、併せて『情報部門の候補者を毎年度推薦することは、他業界と比べて情報業界は評価基準が確立されていないため難しい』旨の発言があった。
-

② 運営委員会報告

■人財育成教育研修部会：花澤部会長

- ・株式会社SBS情報システムの令和 7 年度人事異動により、花澤氏の後任として同社執行役員の原田雅樹氏とする旨の報告があった。
 - ・そして、部会長には現副部会長の高橋義輝氏(株)エムケイ・常務取締役)に就任してもらい、副部会長には現部会員の筒井將光氏及び花澤氏後任の原田雅樹氏の両名に就任してもらう旨の報告があった。
 - ・令和 7 年 5 月 27 日(火)開催の令和 7 年度通常総会における基調講演は、既に富士通(株)に依頼済みであり、花澤部会長が担当すること。
 - ・現在、今年度の視察に参加した当部会メンバーが報告書を作成中であり、今後の協会活動の参考にしてもらいたい旨の報告があった。
-

■人財開拓推進部会：渡辺部会長

- ・静岡大学及び静岡県立大学との連携については今後も強化していき、学生に対して周知するための仕組みづくりとして「関係性構築のための取り組み」を令和 7 年度に展開していきたい旨の報告があり、そのためには“各部会の横断的な展開が必要である”旨の報告があった。
- ・上記報告に対して、久保田理事長から『学生との接点は今後も継続して設けていてもらいたい』旨の発言があった。

・渡辺部会長からは『仕組みづくりあたっては、学生のやりたい事に対してITで支えていきたい』の補足説明があり、久保田理事長より『学生へのどう訴えていくかが課題と考えており、ビジネスマッチング部会との連携も必要と思う』との発言があった。

■ビジネスマッチング部会：山口部会長

・令和7年度はリスキリング(個人が自分のスキルや知識をアップデートし、新たな仕事や役割に対応できるようにするための学習や訓練)をテーマとし、6月初旬に「生涯リスキリング交換会」を“ディスカッション方式+懇親会”で開催予定である。

・交歓会の参加者募集は、従来はIT会員限定としているが、一般会員も案内対象として多くの参加者を募っていききたい旨の補足説明があり、久保田理事長からは『他の部会との連携により、発想の幅を広げていってもらいたい』との発言があった。

(2) 協議事項

① 本年度事業の振り返り(運営委員会報告も含めて協議)

・議事「(1)報告事項-②運営委員会報告」で既に報告がなされたので省略。

② 次年度事業について【別添資料①参照】

・桜井事務局長より、資料①「令和7(2025)年度事業計画(案)」は前回理事会にて提出した内容と同様である旨を説明した後、資料①に記載した各事業計画については各部会による加筆修正を依頼しており、今後部会から提出のあった事業計画案に差し替え、4月理事会にて提出する旨を説明した。

・なお、予算案については事務局案とし、部会から提出のあった事業計画案との整合性を確認した後に4月理事会への提出資料とする旨を併せて説明した。

・なお資料①について、下記内容について補足説明した。

P.4…(4)記載の「部会連携プロジェクト」は新規事業ではなく、これまでも実施していた部会連携と同様の内容である。なお「①総会時会員交流会」の実施時期を令和7年5月27日(火)に修正する。

P.5…(6)記載の広報はWeb発信を中心とし、情報の見える化を促進するためのポータルサイトを協会HP上に設定し、神奈川県情報サービス産業協会等の他団体が主催するセミナー募集案内に係る情報提供を令和7年度から本格稼働する。

【協議事項②に係る懸案事項】

1) 事業計画案の精査にあたり、各部会長に事務局より「事業計画案のWordデー

タ」を送信し、各部長は記載内容を確認した後、加筆修正箇所を含め4月第2週までに事務局あてに記載内容確認について回答する。

2) 上記をもとに事務局では「事業計画案の精査」並びに「表現方法(例:P.1の「1. 事業計画の概要」記載の“DX化をめざし”を“DX実現をめざし”に修正)や誤字脱字等の修正」を行い、4月第3週に役員に対して情報共有を行う。

3) 4月22日(火)16時からの「令和7年度第1回理事会」はオンライン会議となるので、Web上で総会提出議案を決議する。

③ 次年度役員改選について(異動等変更の有無確認)【添付資料②参照】

・桜井事務局長より、資料②は総会前の資料であり、新役員は候補案として理解していただきたい旨を説明。

・事務局松本より、鈴木佐太郎相談役の次年度役員候補欄への記載の有無について議場に質問したところ、久保田理事長より『相談役の選任については過去の理事会でその処遇を決定していない。4月の理事会で配置の有無を決定したいが、次回役員会で各理事の考えを発表してもらいたい』旨の回答があった。

【協議事項③に係る懸案事項】

1) 新役員候補については、所属企業等の人事異動内容を事務局は確認し、異動がある場合には後任者の氏名を新役員候補とする。

2) 役員(理事及び監事)の選任は、定款第14条第1項により「総会において選任する」と規定されており、さらに同条第2項により「理事長及び副理事長は、理事の互選とする」と規定されているため、4月理事会での提出議案では候補者案(理事や監事の役職、さらに理事長や副理事長の役職はこの段階では未決)とし、役員候補者一覧表は五十音順で記載する。

3) 令和7年度における「相談役の配置」は4月理事会にて決定する。

④ その他

・久保田理事長より事務局に対して、理事会議事録作成の際には「次回理事会までの懸案事項を明記するように」との指示があった。

・部会参加者減少に対する意見として下記発言があり、今後の懸案事項とした。

【協議事項④に係る懸案事項】

参加者の減少と固定化による業務負担の増加と活動の不活性化が問題となっており、下記の懸案が挙げられた。

1) 部会の担当が決まっている理事は、部長と連携して部会活動の見直しを図っていく必要がある。現在、人材育成、人材開拓には理事が部会会議に参加して

いるが、BM 部会は理事が参加していないため、選任を含めて協議が必要(担当理事は決まっているが会議には参加していない)。

2) 業務負担の例として、人財開拓の渡辺部会長が部会活動に係る経費を個人負担している状況なども確認されたため、早急に改善できるよう対応する必要がある。

(3) 連絡事項

次回・令和 7 年度第 1 回理事会:2025年 4 月 22 日(火)16:00~17:00

※ウェブ会議にて実施

3. 閉 会

鈴木副理事長から閉会挨拶の後に閉会した。

4. 議事録署名

議 長 久保田 光二 

議事録署名人 宇賀田 栄次 

議事録署名人 村 松 克 己 

2025 年 3 月 25 日

RE:【SIIA 理事会】「3 月 25 日議事録」の確認及び署名のお願い

From:宇賀田栄次 <ugata.eiji@shizuoka.ac.jp>

Date:2025/04/08 12:24

【議事録承認】

令和 6(2024)年度 11 回理事会議事録の記載内容は議事と相違ないものと承認致します。

令和7年 4 月 8 日

理事氏名:宇賀田栄次

Re: 【SIIA 理事会】「議事録」の確認及び署名のお願い

From:村松克己 <kt-muramatsu@d-info.co.jp>

Date:2025/04/11 14:07

【議事録承認】

令和 6(2024)年度 10 回理事会議事録の記載内容は議事と相違ないものと承認致します。

令和7年4月11 日

理事氏名： 村松 克己
